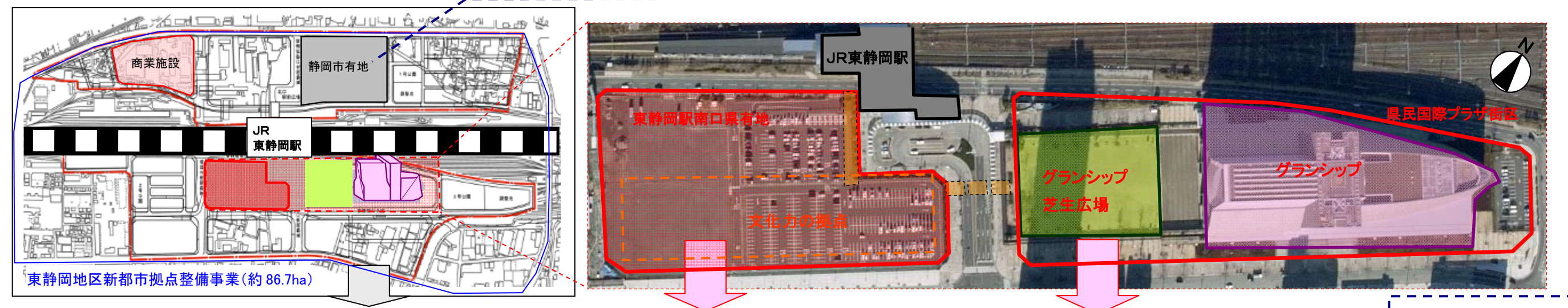


東静岡地区整備に関する経緯



	東静岡駅周辺全体(新都市拠点整備事業) (約 86.7ha)	「文化力の拠点」予定街区 (2.43ha)	県民国際プラザ街区(グランシップ)3.60ha (うち芝生広場 約 0.7ha)	(参考)多目的アリーナ街区 (約 3.6ha)(駅北口市有地)
平成元年度 ～ 平成2年度	<ul style="list-style-type: none"> 新都市拠点整備懇話会の意見を踏まえて、静岡県と静岡市が『東静岡地区新都市拠点整備事業総合整備計画(案)』を作成 ⇒ 建設大臣承認を受ける(H2年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 左計画に「情報センターゾーン」として位置付け、民間を整備主体とし都市型ホテル、報道センター等の整備を想定 	<ul style="list-style-type: none"> 左計画に「県民・国際プラザゾーン」と位置付け、多目的広場を駅前に配置し、公共主導型により静岡県の文化拠点となるホール、県民プラザ等の整備を想定 	<ul style="list-style-type: none"> 左計画に「多目的アリーナゾーン」と位置付け、国際的な交流拠点となるアリーナ等の整備を想定
平成3年度 ～ 平成9年度	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道用地等を除く全域の土地区画整理事業の都市計画決定(東静岡駅周辺土地区画整理事業:50.5ha)(3年度) <p>(土地区画整理事業施行)</p>	<p>(情報センターゾーンの構想について検討) (創造・発信機能の民間活力導入による整備等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東静岡都市拠点総合整備委員会(経済界、学識、県議等)で県民国際プラザゾーンに導入する施設の基本計画をまとめ、知事に提言(H5年度) <p>設計 ↓ 施工</p>	<p>(ゾーンの構想について検討)</p>
平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> 東静岡駅開業 南北自由通路(人工地盤)完成(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理実施済箇所をグランシップ駐車場として整備し暫定利用開始(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 建物竣工(8月)、広場整備工事竣工(10月) 開館(3月) 	
平成11年度 ～ 平成25年度	<p>(土地区画整理事業施行)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携したまちづくり構想を検討(H21年度) 同構想の策定(H22年度) (学住一体のまちづくりランドデザイン) 	<p>(供用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新市建設計画に新市役所建設を掲載(H15年度) 同計画を変更し、新市役所建設計画を撤回(H20年度)
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> “ふじのくに”の「文化力」を活かした地域づくり基本構想有識者会議設置,策定(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 左記基本構想において、各種機能等を想定 		<ul style="list-style-type: none"> 静岡市第3次総合計画において「文化・スポーツの殿堂」として位置づけ(12月)
平成27年度	<p>(土地区画整理事業施行)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東静岡駅南口県有地への「文化力の拠点」基本計画策定専門家会議の設置、開催 「文化力の拠点」基本計画(案)作成 		<ul style="list-style-type: none"> 暫定的利用として「アート&スポーツ/ヒコバ」としての整備を決定
平成28年度			<ul style="list-style-type: none"> 東静岡駅南口グランシップ芝生広場活用方策検討会議の設置、開催 	<ul style="list-style-type: none"> 「アート&スポーツ/ヒコバ」を整備
平成29年以降	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業施行完了 			<ul style="list-style-type: none"> 整備方針を決定(H30年まで)